

YAHOO!  
JAPAN

born in

...and now,

'96 2006

10th  
ANNIVERSARY

ヤフー株式会社

株主通信 VOL.13  
'06 4/1~9/30



2006年4月1日、Yahoo! JAPANはサービス開始から10周年を迎えました。1996年に誕生したYahoo! JAPAN。以来、インターネットの玄関として、多彩なサービスを展開してきました。現在その数は、100を超えています。今後もさらなるサービスの向上に努めてまいります。

## YAHOO!

【名：ヤフー】米国スタンフォード大学の学生だったジェリー・ヤン (Jerry Yang) とデビッド・ファイロ (David Filo) が始めたインターネットサービス。利用者からの大きな支持を得て1995年に法人化。現在は、検索サービスにとどまらずインターネット上であらゆるサービスを提供しており、インターネットの利用者にとってはなくてはならない存在に。Yahoo!という名前は、“Yet Another Hierarchical Officious Oracle” (もう一つの階層的で非公式な神託)の略だといわれていますが、ジェリーとデビッドの二人は自らを「ならず者」(yahoo)と称し、この名前を選んだと主張しています。

◆【語源】Yahooの語源は、スウィフトの「ガリバー旅行記」に登場する野蛮人の名前から。Yahooは、理性を持った馬に飼われる、人の形をした「野蛮の象徴」として風刺的に描かれています。

## 目次

- 02 株主の皆様へ
- 08 CSR(企業の社会的責任)活動報告
- 10 事業別の概況
- 14 使ってみよう
- 16 連結貸借対照表
- 18 連結損益計算書
- 20 連結キャッシュ・フロー計算書
- 21 連結株主資本等変動計算書
- 22 社員インタビュー
- 24 アンケート結果のご報告
- 25 Q&A
- 26 株式情報
- 27 会社沿革
- 28 会社概要
- 29 株主メモ



# 株主の皆様へ

はじめに

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。  
皆様にお届けしております株主通信も今回で第13号となりました。  
株主の皆様の当社に対するご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

## 本格的なインターネット市場の 創造はまさにこれからが本番

—最近、インターネット業界は、株価も含めて元気がなく、  
転換期を迎えたのではといった一部指摘もありますが？

**井上：**一番大事なことは、インターネットの利用がますます進んでいるということです。インターネットは既に日常生活に欠かせないものであり、インターネットなしではビジネスもプライベートも成り立たない。メディアとして考えても、他のマスメディアに比べてインターネットの利用時間だけがどんどん伸びています。インターネット市場の成長性はまだまだ十二分に残されており、本格的な市場創造はこれからが本番です。確かに、一部の企業において、業界やインターネットの信頼を損なうような不祥事があり、不信感を与えてしまったかもしれませんが、それが即、インターネット市場の



ヤフー株式会社 代表取締役社長  
井上 雅博

成長性を否定するものでは決してありません。他の産業と比較しても、極めて高い成長性が見込める事業分野です。

## 今後とも高い成長性が見込める インターネット広告とeコマース市場

—ヤフーが今後の「柱」として位置付ける事業は何でしょう  
うか？ また、その将来性とは？

**井上：**大きなくくりで言うと、やはりインターネット広告とeコマースです。この2つの事業がヤフーの成長を引き続き

牽引していくことは間違いありません。広告について言えば、より多くの人により長い時間接することが大事なのですが、インターネットのメディアとしての価値と強みは、今後さらに飛躍的に高まっていくのは確実で、それとともにインターネット広告市場も成長を続けていくと確信しています。一方、eコマースは消費者にとってより便利になっていくことが大事で、ヤフーでは、今後も“より便利なサービス”を開発・提供していくことで、一層の市場拡大、市場創造を積極的に図っていく考えです。

—インターネット広告売上をさらに高めていく具体的な施策、戦略はあるのでしょうか？

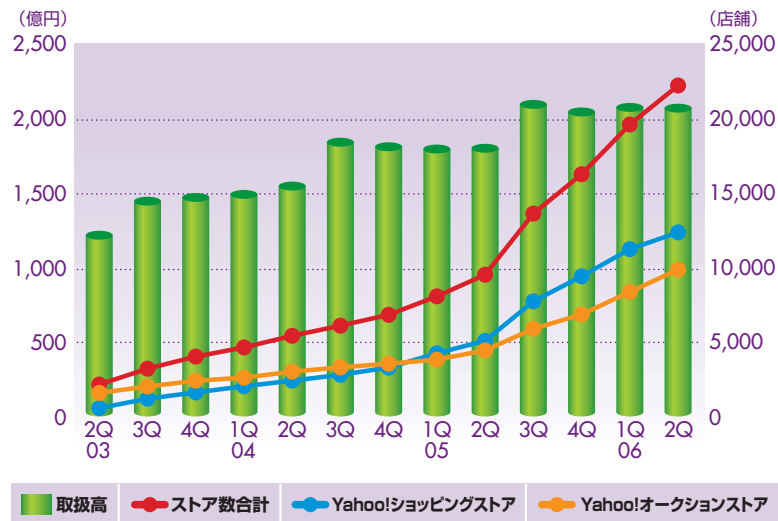
**井上：**インターネット広告の世界では毎年のように新しいツールや広告手法が生まれています。インターネットならではの広告手法もさらに広がるはずで。例えば、行動履歴に基づいて配信を行う行動分析型広告では利用者一人ひとりの興味や嗜好に合わせた広告を表示できるので、特に大手の広告主からの注目度が高まってきています。また、居住する地域に合わせた配信ができる地域ターゲティング広告の利用も増えています。これまでのインターネット広告は、いわゆる全国区の情報でしたが、これからは全国区の情報とともに、

地方区の情報、すなわち限定的な地域広告を配信するという需要が高まっていくものと思います。自分の住んでいる街の情報が知りたい、あるいは自店の商圈に住む人たちに向けて広告を出したいという需要を広くすくい上げていくことで、もう一つの大きなインターネット広告市場を創り上げることができると考えています。

—eコマースの拡大策についてはどうでしょうか？

**井上：**「Yahoo!オークション」については、今後も安全性・信頼性を一層高めていくことが重要だと考え、各種の施策を積極的に推進していきます。また、これまで積極的にインターネットを利用する機会の少なかった層の参加を促すため、テレビCMなどの広告宣伝や、Yahoo! JAPAN IDがあれば参加できるキャンペーンを実施していますが、これからもさらなる市場拡大に向けた取組みを行っていきます。「Yahoo!ショッピング」については、今後も店舗数の拡大と店舗ごとの売上高を増やすことに注力する一方で、最近注目を集めているアフェリエイト広告などの活用もさらに推進していく考えです。

## eコマース取扱高及びストア数



## “簡単で便利で安心”な 金融・決済サービスの実現を目指して

— ジャパンネット銀行に資本参加し、すでに「Yahoo!オークション」において決済サービスがスタートしましたが、こういった点が便利で安心なのでしょうか？

**井上：**これまで購買と決済を別々にやらなければなりませんでしたが、この面倒なことが解消されてとても便利になります。また、落札者に銀行の口座番号を知らせずに済むので、

より安心感が増すと思います。口座番号はインターネットバンキングにログインする際の入力項目の一つでもありますから、不正なログインを防止することができますし、Yahoo! JAPAN ID とジャパンネット銀行の口座を連携させることで、ヤフーと銀行の両方で本人確認を行うようにしているため、より一層の不正防止につながります。

— 金融・決済サービスは、今後オークション以外のサービスにも拡大するのでしょうか？

**井上：**インターネットの各種サービスをより良いものに変えていくとともに、決済サービスを変えていく必要があると考えています。インターネット上のサービスでは今後ますますお金を払ったり受け取ったりする場面が増えていくことは間違いありませんので、それらを決済サービスと連結させていくことが不可欠だと考えています。“限りなく簡単で便利で安心”な決済サービスの実現を目指しています。それが、お客様のメリットとなり、さらにはeコマース市場を一層拡大することにつながるものと信じています。

## 先陣を切り、ソフトバンクと組んでモバイルインターネットのオープン化を目指す

—さて、今年4月に携帯電話事業に出資しましたが、改めてその目的を教えてください。

**井上**：出資の目的は、オープンなモバイルインターネットの環境を創り上げることにあります。現在の携帯電話会社ごとに閉じられた世界をオープンなものにすれば、ヤフーにとって大きなビジネスチャンスの到来を意味します。このオープン化は、誰かがやらなければ進まないことですので、ソフトバンクとヤフーがその先陣を切って行うことにしました。ヤフーとしては、もちろん今後とも、すべての携帯電話会社の利用者に対してより良いサービスを提供していきますが、同時にソフトバンクと組むことにより、これまでモバイルにおいてできなかったサービスの提供、そしてオープン化に向けて積極的に取り組んでいきます。

—モバイルインターネットのオープン化にはどのくらいの時間がかかるのでしょうか？

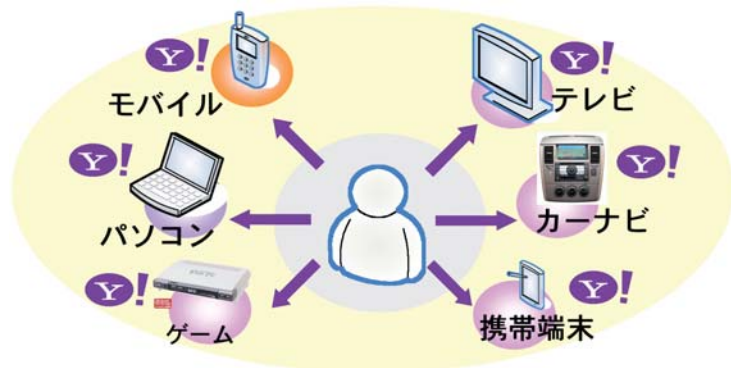
**井上**：もちろん、一朝一夕にオープン化できるとは思っていません。5年なり10年なりの視点で見ていくことが必要かと

考えています。ただ、その方向へ今後大きく動き出すのは間違いありません。そもそも利用者数ではパソコンは約5,000万人で携帯電話は約8,000万人と、携帯電話の利用者の方が多いのです。ただし現状では携帯電話で利用するのはメールだけという方がほとんどで、それ以外のインターネットサービスはそれほど使われていません。オープン化が実現できれば、その市場規模は、パソコンのインターネット市場に比肩するものになると見込んでおり、ヤフーの収益機会も大きく増えるものと考えます。



## Yahoo! Everywhere

Yahoo! JAPANが提供するサービスを時間や場所に制限されことなく利用することができる環境の構築



## いつでもどこでもYahoo! JAPANにつながる「Yahoo! Everywhere構想」

—さらなる成長に向け、モバイルのサービスも強化していますが、携帯電話以外の機器からの利用も想定しているのですか？

**井上：**ヤフーでは、以前から「Yahoo! Everywhere 構想」を掲げています。これは、インターネットの普及が進み、利用環境が大きく変化するなか、パソコンや携帯電話だけでなく、テレビやカーナビ、ゲーム機などを使って、「いつでもどこでも」インターネットが使える環境を整えようという構

想です。時間や場所に制限されずにあらゆる場面でインターネットに触れることができるようになれば、インターネットの利用者にとっては非常に便利であり、個々の利用者のインターネットへの接触時間は格段に高まるものと予想されます。加えて、これまでインターネットにあまり触れる機会がなかった人たちをも同時に取り込むことが期待できます。テレビなどの家電を使って、ヤフーの検索や「Yahoo!オークション」を利用したり「Yahoo!動画」などを楽しむことができたりするのです。このようにインターネットをリビングルームでもっと気軽に利用し楽しむことができるようになれば、インターネットの世界はもっと広がるはずです。実際に、モバイルインターネットの利用状況や情報家電については日本が世界をリードしていますので、これからのインターネットは日本がリードしていくべき分野ではないでしょうか。

—最近、ソーシャル・ネットワーキング・サービスが話題になっていますが、ヤフーでの取り組み状況はいかがですか？

**井上：**今年2月からベータ版としてスタートしていた「Yahoo! 360°」を、7月に正式名称「Yahoo! Days」として本格的にサービスを開始するとともに、本人確認が取れているYahoo!プレミアム会員とYahoo! BB会員の方なら招待



がなくても参加できるようにしました。知人や友人同士、あるいは同じ趣味を持つ方同士で交流を深めることができる場を提供したり、利用するお客様から本格的な情報発信が可能なツールを用意するなど、お客様の満足度と滞在時間の向上を図りたいと考えています。ソーシャル・ネットワーキング・サービスも交換日記だけだとあまりビジネスになりませんが、ヤフーの場合は、この10年間で培ってきた多種多様なサービスがあり、ソーシャル・ネットワーキング・サービスと連携させることができます。「Yahoo! Days」を横軸にして、ヤフーの各種サービスをリンクさせ、Yahoo! JAPAN IDを保有されている約1,700万人ものお客様に、個々のサービスを有機的に結びつけたサービスを提供したいと思います。

## 今後の「質の10年」を通じて さらに「信頼される企業」へ

—最後に、今後の「質の10年」に向けての抱負を聞かせてください。

**井上**：第一に考えることは、常にお客様が何を求めているかということです。それを考え、具体的な形にして、サービス

として提供することがヤフーの変わらぬ基本姿勢です。全てのお客様にとって使いやすく便利なサービスを提供し、さらに時間や場所の制約を受けずにいつでも必要な情報にアクセスしたり、友人や仲間と連絡を取ったりすることができるようにしていく。このように多くの人々の生活をより豊かなものにすることが、インターネット業界におけるリーディングカンパニーとしての使命であると考えています。それを可能にするためには、市場変化などに対して常に迅速かつ柔軟に対応できる組織体制と人材が必要で、今年4月に行った組織再編はまさにそのためのものです。ヤフーは株主の皆様はもとより、すべてのお客様のために今後とも「信頼される企業」を目指して成長を図っていきたいと考えております。今後の「質の10年」にぜひ期待していただきたいと思います。

### PROFILE

#### 井上 雅博 (いのうえ まさひろ)

1957年 2月12日生まれ  
1979年 4月 (株)ソード電算機システム入社  
1987年11月 (株)ソフトバンク総合研究所入社  
1992年 6月 ソフトバンク(株) 入社  
1994年 1月 同社社長室・秘書室長  
1996年 1月 ヤフー(株) 設立、取締役就任  
1996年 7月 ヤフー(株) 代表取締役社長就任



# CSR(企業の社会的責任)活動報告

当グループはインターネット企業として、インターネット社会の安全で健全な発展を目指して、インターネットを活用した社会貢献活動を積極的に行っています。

当グループの社会貢献活動は、Yahoo! JAPANのトップページ下部にある「社会的な取り組み」からご覧いただけます。

↳ <http://forgood.yahoo.co.jp/>



## 2006年度 上半期のトピックス

### 4/27 ● 「Yahoo!メール」に送信元を保証する「Y!」マークを表示

Yahoo! JAPANからの送信メールに「Y!」マークを表示。「Yahoo! JAPAN」を装ったフィッシング詐欺を見分ける手がかりとなります。

### 5/14 ● ピンクリボンキャンペーン2006開始(～11/30)

ピンクリボンキャンペーンとは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の重要性を訴える活動です。Yahoo! JAPANでは乳がんの早期発見を訴えると同時に、検診可能な病院情報の提供、お客様の活動への参加を呼びかけています。

### 6/6 ● 「Yahoo!あんしんねっと」提供開始

「Yahoo!あんしんねっと」は、子どもにとって有害または不適切なサイトの閲覧規制などができるフィルタリングサービスです。当サービスを無料で提供することにより、子どもたちとその保護者の方々が安心してインターネットを楽しめる環境の普及に貢献していきます。

### 6/8 ● 「Yahoo!基金」設立

お客様と共に、インターネット社会の安全で健全な発展のため、また、災害被災地の復興のために支援を行っていきます。「Yahoo!基金」は「支援をしたい」と思う皆さまの気持ちにお応えするとともに、「支援を募集している」人や団体へのサポートを行います。

### 7/5 ● Yahoo!オークション 新チャリティー企画「チャリティーオークション『Wa』」スタート

「Yahoo!オークション」では社会貢献活動の一環として「チャリティーオークション」を常時開催しています。今回“つながるオークション、ひろげるチャリティー”をコンセプトに新たに著名な方々によるリレー形式のチャリティーオークションを開始しました。

### 7/20 ● 発表「Yahoo!オークション」、2006年1月～6月のチャリティーオークションの落札総額は60,573,317円となりました

## 適正な企業活動を続けるために

### 適正な企業活動に内部監査は不可欠です

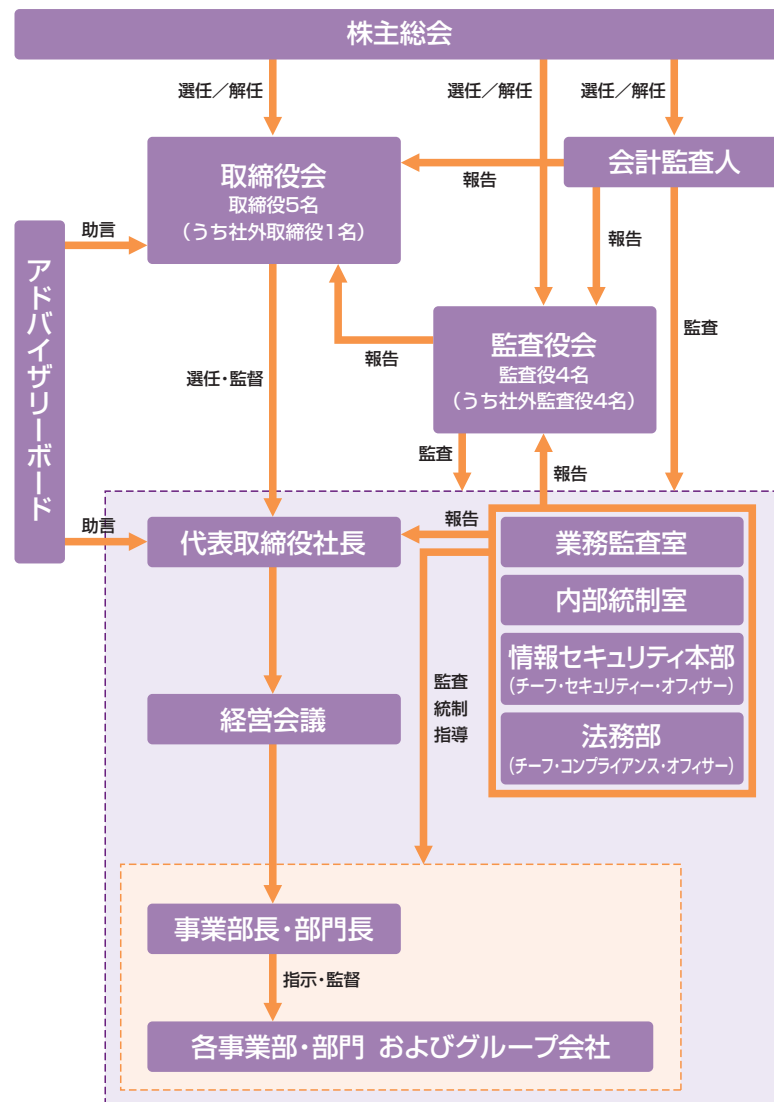
当社では、法定監査としての監査役（全員が社外監査役）による監査および監査法人による監査とは別に、業務監査室による内部監査を行っています。公正な企業活動を行い、社会的責任を果たしていくためには、内部監査が不可欠であると考えます。業務監査室は、社長直属の独立した組織であり、各事業部門や管理部門からの独立性を厳格に担保しています。

### 内部統制は企業価値を高めるためのインフラです

2006年4月から、同じく社長直属の独立した組織として内部統制室を新設しました。業務の有効性や効率性、財務報告の信頼性を高め、法令遵守を徹底することを主な目的としています。統制環境、リスク管理、職務分離、チェック・承認手続、報告、監視・点検、監査などの管理機能がスムーズかつ適切に業務に組み込まれるよう、社内の各組織に対し支援・指導を行います。

### 社外有識者の意見を経営に反映しています

当社では、弁護士や大学教授などの有識者に委員として参加していただき、事業の運営や新規サービスなどにかかわる課題を討議する「アドバイザリーボード」を開催しています。



# 事業別の概況

## 事業区分の内容

※2005年度までは売上高を6事業部および「全社共通事業・本社」に分類していましたが、2006年度より開示セグメントを「広告事業」、「ビジネスサービス事業」、「パーソナルサービス事業」、「消去又は全社」に変更しています。

項目	主な売上の内容
広告事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バナー広告、メール広告等による売上、またはそれに付随する企画広告制作にかかる売上</li> <li>・スポンサーサイト売上（検索結果の中に広告が表示され、広告がクリックされた際に広告主へ課金）</li> </ul>
ビジネスサービス事業	広告以外の法人向けビジネスによる売上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Yahoo!リクナビ」、「Yahoo!不動産」、「Yahoo!自動車」等において、情報提供元から情報掲載料を受領</li> <li>・「Yahoo!オークション」、「Yahoo!ショッピング」の出店店舗へ課金しているテナント料・手数料</li> <li>・「Yahoo! BB」の申込件数・利用件数に応じたインセンティブ</li> <li>・「Yahoo!リサーチ」、ビジネスエクスプレス、「Yahoo!ウェブホスティング」等の販売による売上</li> </ul>
パーソナルサービス事業	個人向けビジネスによる売上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Yahoo!オークション」のシステム利用料</li> <li>・「Yahoo!プレミアム」の売上</li> <li>・「Yahoo! BB」のISP料金、有料コンテンツの利用にかかるコンテンツ料金 等</li> </ul>

## 上半期(2006年4月1日～2006年9月30日)

(単位:百万円)

	広告事業	ビジネスサービス事業	パーソナルサービス事業	計	消去又は全社	連結
売上高	42,537	22,193	35,813	100,544	▲ 75	100,469
(構成比)	(42.3%)	(22.1%)	(35.6%)	—	(▲ 0.0%)	(100.0%)
営業費用	19,085	13,642	13,425	46,152	5,316	51,469
営業利益	23,452	8,551	22,388	54,392	▲ 5,392	49,000
(構成比)	(47.9%)	(17.5%)	(45.7%)	—	(▲ 11.1%)	(100.0%)

## 広告事業の概況

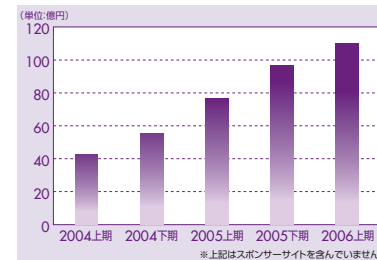
広告代理店との連携をより一層強化し、広告主のニーズに合わせた商品の提供、新規需要の開拓や出稿機会の拡大に努めました。ナショナルクライアントを中心に、高度な動画技術によりブランディング※<sup>1</sup>効果の高い広告商品を積極的に提案しました。自動車関連、化粧品・トイレタリー関連、ハウスメーカー関連の業界などで、これまでインターネット広告に対して消極的だった企業から新たな大口受注を獲得するなど、ナショナルクライアントからの広告出稿額は堅調に推移し、Yahoo! JAPANは大手広告主の広告キャンペーンには欠かせない媒体として、その存在感を高めることができました。また、インターネットならではの特徴を活かし、ウェブ閲覧履歴を基に広告配信を行う行動ターゲティング型の広告商品や、居住地域に合わせた広告配信ができる地域ターゲティング型の広告商品の販売にも注力し、特に地域ターゲティング型の広告商品はこれまで獲得しにくかった地方の広告主の需要を掴むなど広告売上に占める割合も高まってきたほか、スポンサーサイト※<sup>2</sup>についても売上が順調に推移しました。加えて、インターネット広告の掲載結果の測定精度をより高くするために「クライアント・サイド・カウンティング」という方式を採用しました。これは国際的なカウント基準に合致する計測方式であり、インターネット広告への信頼性をより高めることが可能となります。

2006年度上半期の広告事業の売上高は42,537百万円（前年同期比43.0%増）、全売上高に占める割合は42.3%となり、営業利益は23,452百万円（前年同期比42.8%増）となりました。

※<sup>1</sup> ブランディングとは、商品や企業のブランドイメージを顧客などに浸透させる活動のことです。

※<sup>2</sup> ある単語で検索した際に、検索した単語に関連する広告が検索結果に表示され、表示された広告がクリックされると広告主に課金される仕組みです。

### ナショナルクライアントからの出稿額



#### ※ナショナルクライアント

- ・日経広告研究所2004年  
広告費用上位100社
- ・ビデオリサーチ テレビ広告統計  
2005年広告出稿  
上位100社（関東）50社（関西）
- ・MRS2005年新聞雑誌  
広告費用上位各100社

上記に含まれる企業に、当グループ営業重点企業（大企業等）を加えたものを母数とする。ここに含まれる企業に政党及び官公庁を加えた企業をナショナルクライアント数とする。

## ビジネスサービス事業の概況

「Yahoo!ショッピング」において、期間内に申込を行うと月額システム利用料が最大で6ヶ月分無料になる個人事業主向けのキャンペーンを実施したほか、「Yahoo!オークション」においても積極的に新規ストアの獲得に注力しました。その結果、「Yahoo!オークション」、「Yahoo!ショッピング」の2006年9月末のストア数は合計で22,304店舗となり2006年3月末に比べて5,981店舗（36.6%増）増加し、それにともないテナント料および手数料収入が好調に推移しました。また、下半期に向けた採用活動を中心とした企業の求人情報掲載により「Yahoo!リクナビ」、短期・単発アルバイト専門の「ショットワークス」は前年同期と比べ売上を大きく伸ばしたほか、「Yahoo!不動産」においても売上が好調に推移しました。更に、(株)インフォプラントおよび(株)インテージ・インタラクティブと連携した「Yahoo!リサーチ」や、夏の旅行シーズンを迎えた「Yahoo!トラベル」についても前年同期比で売上を大きく伸ばしました。

2006年度上半期のビジネスサービス事業の売上高は22,193百万円（前年同期比42.9%増）、全売上高に占める割合は22.1%となり、営業利益は8,551百万円（前年同期比20.1%増）となりました。



※ (株)インフォプラントおよび(株)インテージ・インタラクティブは、インターネットを中心としたマーケティング・リサーチやアンケート調査を主な事業とする会社です。なお、(株)インフォプラントは当社の連結子会社、(株)インテージ・インタラクティブは、当社と(株)インテージとの合併によるリサーチの専門会社です。

## パーソナルサービス事業の概況

「Yahoo!オークション」の参加資格をYahoo!プレミアム会員以外にも一部開放したことに加え、テレビCMなどの広告宣伝活動や、アフィリエイト※1サービスを提供し消費者発信型メディアを活用したマーケティングによりネットオークション市場の更なる拡大を図りました。また、落札システム利用料を2006年5月下旬より3%から5%に変更したことも寄与し、システム利用料収入は好調に推移しました。Yahoo!プレミアム会員については、「Yahoo!オークション」の参加資格をYahoo!プレミアム会員以外にも一部開放したことにより会員数の減少が予想されましたが、解約者数の増加は限定的であり、2006年9月末のYahoo!プレミアム会員数は643万IDとなり、2006年3月末と比べて28万ID（4.6%増）増加しました。Yahoo! BB会員数は2006年9月末時点で514.6万回線となり、2006年3月末と比べて9.7万回線（1.9%増）増加し、ISP料金収入は堅調に推移しました。更に、2006年8月に「Yahoo!動画」が国内動画配信サイトNo.1の地位を獲得した※2ほか、「Yahoo!動画」より配信されたパ・リーグ プレーオフ第2ステージのライブ中継では総視聴者数が約20万人となるなど、高度な配信技術により、高画質の映像を多くの視聴者に提供することができました。2006年度上半期のパーソナルサービス事業の売上高は35,813百万円（前年同期比22.8%増）、全売上高に占める割合は35.6%となり、営業利益は22,388百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

※1 アフィリエイトとは、例えば個人が開設しているサイトの閲覧者を商品販売のページに誘導し、商品を購入してもらうことにより、サイト開設者が商品販売者から報酬を得ることなどを言います。

※2 ネットレイティングス調べ



「Yahoo!オークション」の初テレビCMを、全国主要エリアにて放送いたしました。

# 使ってみよう モバイル版Yahoo! JAPAN

検索、メール、オークション、占い、路線情報など、Yahoo! JAPANでおなじみのサービスを、携帯電話からご利用いただけるのがモバイル版Yahoo! JAPANです。モバイル版Yahoo! JAPANでは、自宅でも外出先でも、いつでも、どこからでもYahoo! JAPANのサービスをお楽しみいただけます。当グループでは、今後も各種サービスをさらに便利なものにし、顧客満足度を高めることで、より一層の収益拡大を目指していきます。



## ケータイで広がるYahoo! JAPANのサービス

Yahoo! JAPANのサービスを携帯電話から利用できるのが、モバイル版Yahoo! JAPANです。インターネットに接続可能な携帯電話をお持ちの方ならだれでもアクセスできます。例えば、外出先でのメールチェック、気になるオークションの経過閲覧、注目している銘柄の株価情報、目的地までの経路検索など、携帯電話さえあればいつでもどこでも便利な機能が利用できるのです。とても便利です。パソコンで登録したYahoo! JAPAN IDをそのまま利用して、My Yahoo!や掲示板なども利用できます。iモード、EZweb、Yahoo!ケータイから<http://yahoo.jp>でアクセスできます。

2006年10月1日

ボーダフォンがソフトバンクへ生まれ変わり、Yahoo!ケータイが誕生しました!

**Y!**  
Keitai

## Yahoo!ケータイって何?

- Q1 Yahoo! JAPANが作った携帯電話のこと?**  
違います。ソフトバンクケータイの新しいポータルサイトの名称です。
- Q2 どうやったらアクセスできるの?**  
ソフトバンクケータイの「Y!」ボタンをプッシュするだけです。
- Q3 Vodafone live!からどこが変わったの?**  
従来の公式サイトにモバイル版Yahoo! JAPANのサービスが加わり、見た目も、サイトの数や種類も、何もかも変わりました!
- Q4 Yahoo! JAPANのサービスも使えるの?**  
もちろん使えます! しかも、さらにパワーアップしました。



## Yahoo!ケータイ5つの注目ポイント

### 注目ポイント1 最強の検索エンジン!

Yahoo! JAPANの検索性の良さが「Yahoo!ケータイ」にも受け継がれています。従来の「Yahoo!サービスとの一致」「Yahoo!カテゴリとの一致」「サイト、ページとの一致」に加え、新たに「PCサイトとの一致」「関連検索ワード」「Yahoo!知恵袋との一致」が表示されるようになりました。

### 注目ポイント2 オススメサイトを週替わりで!

携帯で人気のコンテンツは音楽、ゲーム、壁紙、そして最近では電子コミック。この4つのコンテンツについては、トップページのオススメのところまで特別コーナーがあります。それぞれのジャンルにおいてニュースや特集などの読み物、ランキング情報、あるいは無料コーナーが用意されるなど、お得で楽しい情報が満載です。

### 注目ポイント3 公式コンテンツが探しやすい!

着信メロディやゲームアプリ、ムービーなど、携帯向けに作られたソフトバンク公式サイトへの窓口「メニューリスト」ももちろん健在です。わかりやすいカテゴリからお目当てのサイトへアクセスすることができます。ソフトバンク公式サイトは、このメニューリストのほか検索窓、およびオススメからも探すことができます。

### 注目ポイント4 Flash対応で見やすい!

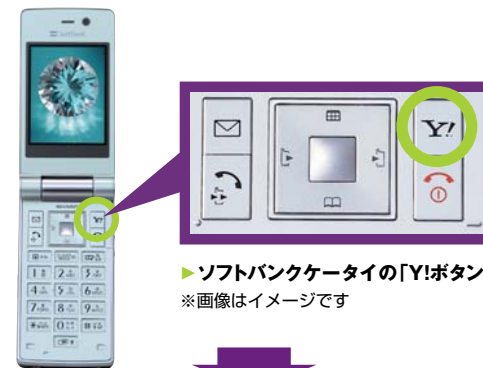
Yahoo!ケータイのトップページは、パソコン版Yahoo! JAPANのトップページと似ているため、初めてでも使いやすい。パソコンの画面に比べて携帯の画面は小さいので、小さくても見やすい工夫が随所にあります。その1つがFlash2.0です。カーソルを合わせるだけでトップメニューの次の階層を表示します。

### 注目ポイント5 Yahoo! JAPANのいろいろなサービスが!

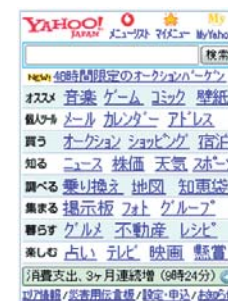
Yahoo!ケータイはオークション、ショッピング、路線情報、掲示板などのサービスから、メール、カレンダー、アドレスブックといったツールまで、パソコン版Yahoo! JAPANと同じようにお使いいただけます。

#### ケータイ登録で常にログイン状態に

Yahoo! JAPAN IDをお持ちの方が「ケータイ登録」をすると、常にログイン状態になり、Yahoo! JAPANのサービスがより利用しやすくなります。Yahoo!メールやYahoo!メッセージなどのアプリももちろんお使いいただける上、Yahoo!プレミアム会員、Yahoo! BB会員など有料会員の方向けにはさらにお得な情報もあります。



▶ソフトバンクケータイの「Y!ボタン」  
※画像はイメージです



#### ▶Yahoo!ケータイのトップページ

- ※ 「Y!ボタン」がついていない機種につきましてはメニューからVodafone live!をお選びいただき、Yahoo!ケータイへアクセスすることができます。
- ※なお、「ボーダフォン」から「ソフトバンク」への名称変更に伴い、携帯電話機の表示内容とご利用いただく際のサービス名称が一部異なる場合がございます。

# 連結貸借対照表

## POINT-1

受取手形及び売掛金は、主に広告売上および法人向け売上の増加により270億円（前年同期比37.4%増）となりました。

## POINT-2

短期貸付金は、Yahoo! BB事業に関するファイナンススキームに基づく融資の回収により13億円（前年同期比 70.2%減）となりました。

## POINT-3

有形固定資産は、主にサーバー等ネットワーク設備の増強により144億円（前年同期比 15.6%増）となりました。

## POINT-4

無形固定資産は、主にシステム委託開発の増加および（株）インフォプラント株式の追加取得により131億円（前年同期比 97.5%増）となりました。

## POINT-5

投資その他の資産は、主にBBモバイル（株）および（株）ジャパンネット銀行への出資により1,719億円（前年同期比 5.3倍）となりました。

## 資産の部

主な科目	前中間期	前期	当中間期
	【2005年9月30日現在】	【2006年3月31日現在】	【2006年9月30日現在】
<b>流動資産</b>	<b>99,476</b>	<b>132,188</b>	<b>86,340</b>
現預金	71,542	98,038	50,801
受取手形及び売掛金	19,665	25,213	27,014
短期貸付金	4,517	3,656	1,344
その他	5,327	7,085	9,562
貸倒引当金	▲ 1,577	▲ 1,805	▲ 2,382
<b>固定資産</b>	<b>51,838</b>	<b>58,785</b>	<b>199,581</b>
有形固定資産	12,525	14,015	14,482
無形固定資産	6,675	11,702	13,181
投資その他の資産	32,637	33,067	171,917
<b>資産合計</b>	<b>151,314</b>	<b>190,974</b>	<b>285,922</b>

2006年10月23日におこなった決算説明会の模様を下記URLにてご覧いただけます。  
当社代表取締役社長 井上雅博による業績説明のほか、質疑応答もご覧いただけます。（日本語/英語 対応）

### アクセス方法:

Yahoo! JAPAN トップページの一覧下にある[投資家情報](#)から  
IRイベントスケジュール  
↳ 2006年度 第2四半期および上半期  
↳ 決算説明会へのリンク

<http://irstreaming.yahoo.co.jp/20062q/>

(単位:百万円)

負債の部			
主な科目	前中間期 [2005年9月30日現在]	前期 [2006年3月31日現在]	当中間期 [2006年9月30日現在]
<b>流動負債</b>	<b>33,865</b>	<b>45,489</b>	<b>63,152</b>
買掛金	1,146	889	802
短期借入金	239	208	20,199
未払金	10,216	12,418	11,222
未払法人税等	16,242	23,484	21,070
その他	6,021	8,488	9,858
<b>固定負債</b>	<b>2,173</b>	<b>1,663</b>	<b>60,079</b>
長期借入金	—	—	60,070
<b>負債合計</b>	<b>36,039</b>	<b>47,152</b>	<b>123,232</b>
純資産の部			
<b>株主資本</b>	<b>109,761</b>	<b>135,856</b>	<b>157,987</b>
資本金	6,803	7,032	7,100
資本剰余金	1,884	2,113	2,181
利益剰余金	101,100	126,737	148,734
自己株式	▲ 27	▲ 28	▲ 28
<b>評価・換算差額等</b>	<b>4,887</b>	<b>6,598</b>	<b>3,295</b>
新株予約権	—	—	4
少数株主持分	626	1,367	1,402
<b>純資産合計</b>	<b>115,275</b>	<b>143,822</b>	<b>162,689</b>
<b>負債、純資産合計</b>	<b>151,314</b>	<b>190,974</b>	<b>285,922</b>

## POINT-6

買掛金は、主にセブンアンドワイ(株)を連結子会社から除外したことにより8億円(前年同期比30.0%減)となりました。

## POINT-7

BBモバイル(株)への出資に伴い借入をしたことにより短期借入金が201億円(前年同期比84.3倍)、長期借入金が600億円となりました。

## POINT-8

資本金は、ストックオプションの行使により71億円(前年同期比4.4%増)となりました。

## POINT-9

利益剰余金は、利益の増加により1,487億円(前年同期比47.1%増)となりました。

## POINT-10

評価・換算差額等は、投資有価証券の時価評価により32億円(前年同期比32.6%減)となりました。

# 連結損益計算書

## POINT-1

### 人件費

当中間期末における当グループの役職員数（重複者除く）は、2,999名と前年同期末と比べて785名増加（35.5%増）しました。

### 業務委託費

主なものは、派遣・常駐社員等にかかる費用、パーソナルサービス事業の売上に関する決済業務に伴う費用ならびに「Yahoo! BB」のコールセンター費用です。

### 通信費

主にデータセンター増強によるものです。

### 広告宣伝費

主にテレビCMを制作・放映したことによるものです。

### 貸倒引当金繰入額

主に個人向け債権の増加によるものです。

### その他

主なものは、租税公課、補償金、旅費交通費などです。

## 科目

### 売上高

売上原価  
販売費及び一般管理費  
人件費  
業務委託費  
販売手数料  
通信費  
減価償却費  
販売促進費  
ロイヤルティ  
賃借料・水道光熱費  
情報提供料  
支払手数料  
広告宣伝費  
貸倒引当金繰入額  
維持管理費  
のれん（連結調整勘定）償却額  
事務用品費  
その他

### 営業利益

営業外損益

### 経常利益

特別損益

法人税等・その他

### 中間(当期)純利益

(単位:百万円)

前中間期 [2005年4月1日~ 2005年9月30日]	前期 [2005年4月1日~ 2006年3月31日]	当中間期 [2006年4月1日~ 2006年9月30日]
80,016	173,695	100,469
6,928	12,843	4,182
35,666	78,719	47,286
6,807	14,730	9,118
4,932	10,904	6,841
3,684	8,377	4,923
2,709	5,674	3,916
2,896	6,662	3,612
2,915	6,721	3,445
2,131	4,708	2,842
1,864	4,251	2,528
1,401	3,346	2,206
1,103	2,537	1,614
741	1,765	1,179
664	1,393	1,075
494	1,088	802
382	991	705
207	418	311
2,727	5,145	2,162
37,421	82,133	49,000
▲ 1,057	▲ 2,265	▲ 1,292
36,364	79,867	47,707
314	96	▲ 252
15,225	32,872	20,648
21,453	47,090	26,806

## POINT-2

営業外収益の主なものはYahoo! BB事業に関するファイナンススキームに係る受取利息、営業外費用の主なものは持分法による投資損失および借入金にかかわる費用です。

## POINT-3

特別利益の主なものは投資有価証券売却益、特別損失の主なものは投資有価証券売却損などです。

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

主な科目	前中間期	前期	当中間期
	2005年4月1日～ 2005年9月30日	2005年4月1日～ 2006年3月31日	2006年4月1日～ 2006年9月30日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>24,886</b>	<b>59,604</b>	<b>27,796</b>
税金等調整前当期純利益	36,679	79,963	47,454
減価償却費	2,980	6,922	3,828
のれん(連結調整勘定)償却額	382	1,039	705
持分法による投資損益	1,320	2,689	1,777
持分変動損益	▲ 413	▲ 370	▲ 323
売上債権の増加額	▲ 1,303	▲ 6,353	▲ 1,830
仕入債務の増減額	▲ 82	1,386	▲ 103
その他営業債権の増加額	▲ 1,056	▲ 2,549	▲ 2,855
その他営業債務の増加額	2,939	5,305	1,417
法人税等の支払額	▲ 16,259	▲ 28,892	▲ 22,923
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲ 18,949</b>	<b>▲ 27,532</b>	<b>▲ 149,997</b>
有形固定資産の取得による支出	▲ 3,456	▲ 7,228	▲ 4,745
無形固定資産の取得による支出	▲ 1,543	▲ 4,084	▲ 2,700
投資有価証券の取得による支出	▲ 13,574	▲ 15,209	▲ 145,800
出資の減少による収入	300	300	1,006
貸付金の回収による収入	57	2,263	2,311
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲ 3,390</b>	<b>▲ 3,028</b>	<b>75,125</b>
短期借入れによる収入	340	460	30
長期借入れによる収入	—	—	80,070
長期借入金の返済による支出	—	—	▲ 47
配当金の支払額	▲ 3,654	▲ 3,654	▲ 4,715
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>2,546</b>	<b>29,043</b>	<b>▲ 47,074</b>

## POINT-1

減価償却費は、主にサーバー等ネットワーク設備の増強によるものです。

## POINT-2

法人税等の支払額は、法人税等の確定納付によるものです。

## POINT-3

有形固定資産の取得による支出は、主にサーバー等の設備の取得によるものです。

## POINT-4

投資有価証券の取得による支出は、主にBBモバイル(株)および(株)ジャパンネット銀行への出資によるものです。

## POINT-5

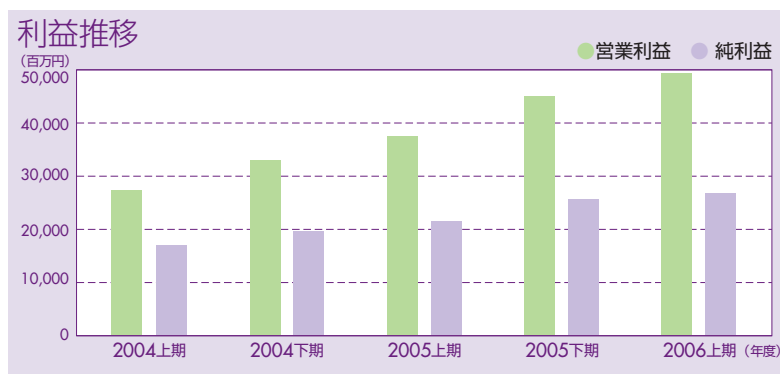
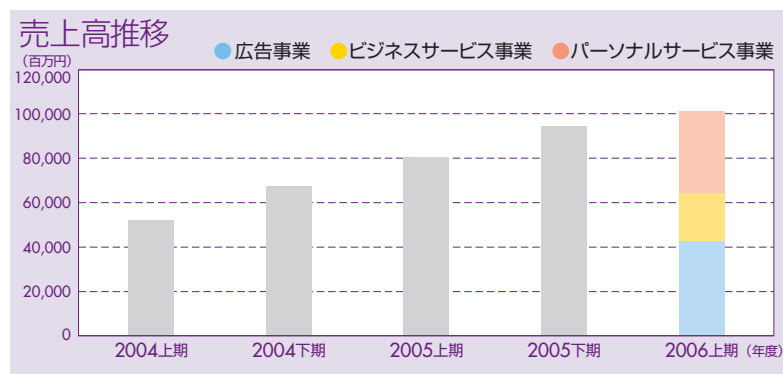
長期借入れによる収入は、主にBBモバイル(株)への出資に伴い借入をしたことによるものです。

# 連結株主資本等変動計算書

当中間期(2006年4月1日～2006年9月30日)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2006年3月31日残高(百万円)	7,032	2,113	126,737	▲ 28	135,856	6,597	1	6,598	—	1,367	143,822
中間連結会計期間中の変動額											
新株の発行	67	67			134						134
剰余金の配当			▲ 4,715		▲ 4,715						▲ 4,715
利益処分による役員賞与			▲ 167		▲ 167						▲ 167
連結子会社の減少に伴う増加高			72		72						72
中間純利益			26,806		26,806						26,806
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						▲ 3,301	▲ 1	▲ 3,302	4	35	▲ 3,263
中間連結会計期間中の 変動額合計(百万円)	67	67	21,996	—	22,130	▲ 3,301	▲ 1	▲ 3,302	4	35	18,867
2006年9月30日残高(百万円)	7,100	2,181	148,734	▲ 28	157,987	3,295	—	3,295	4	1,402	162,689

## 売上高推移・利益推移



※2006年度より開示セグメントを「広告事業」、「ビジネスサービス事業」、「パーソナルサービス事業」、「消去又は全社」に変更しています。

# 社員インタビュー

「企業統治」と「法令遵守」の精神を高次元で具現化し、ヤフーの信頼性、企業価値を高める活動を展開する業務監査室と内部統制室

企業において、自社の健全かつ適正な成長・発展を永続的に図るためには、経営の適正化・透明化を高次元で実現することが何より重要であり、そのためには経営に対するチェック機能を自ら構築、確立することが大切です。そこで今回は、ヤフーにおいて、そのチェック機能を担う業務監査室並びに内部統制室のメンバーに話を聞きました。



## 公正かつ適正な企業活動に不可欠な「内部監査」

ヤフーでは、法定監査としての監査役（全員社外監査役）による業務監査および会計監査、監査法人による会計監査はもとより、当社内に設置した業務監査室による内部監査を行っています。当社が常に公正な企業活動を行い、リーディングカンパニーとしてその社会的責任を十二分に果たしていくためには、自らの手による経営および事業活動全般にわたる厳しいチェックも欠かせません。

業務監査室は、社長直属の独立した組織であり、各事業部門や管理部門からの「独立性」を厳格に担保しています。この「独立性」と「監査の質」をもって、経営目的および事業活動が合理的・効率的・合法的に達成・遂行されているかを的確に調査分析し、かつ適切な改善支援を行います。

業務監査室では、社内のおよび子会社はもとより、必要に応じて関係会社をも対象にして、業務監査、会計監査、

システム監査、情報セキュリティ監査、環境監査、コンプライアンス監査を実施するなど、幅広い領域をカバーしています。また、事故ゼロ活動など、各種の社内業務支援も業務監査室の重要な役割の一つです。

監査業務は専門性が高く多岐にわたるため、業務監査室のメンバーは各分野の専門家や有資格者から構成されています。そしてそのメンバー全員が一丸となって、「よりよいヤフー」の構築、発展を目指して日々、リスクアプローチの考え方に基づき、重要性、緊急性の高い監査領域から重点的に監査を実施し、問題点の明確化、改善指摘、改善支援・フォローアップを継続的に行っています。

## 企業価値を高めるための社内インフラ「内部統制」

さらに、2006年4月、同じく社長直属の独立した組織として内部統制室を新設しました。当社における業務の有効性や効率性、財務報告の信頼性を高め、法令遵守を徹底することが



その主な目的です。具体的には、統制環境、リスク管理、職務分離、チェック・承認手続、報告、監視・点検、監査などの管理機能がスムーズにかつ適切に業務に組み込まれるよう、社内の各組織に対して支援・指導を行います。業務監査室同様、専門性の高い業務内容であることから、そのメンバーは各分野の専門家や公認会計士等の有資格者から構成されています。2006年5月に施行された新会社法においては、「適正な内部統制システムの構築」が強く求められています。ヤフーにおいても、現在国際的に主流となった内部統制フレームワークの考え方を踏まえ、取締役会で決議された内部統制基本方針に従い、速やかな内部統制の実装と運用を積極的に推進しています。また、2008年度からは、企業内容等開示制度の充実と企業の内部統制強化を求める、いわゆる「日本版SOX法(J-SOX)」の適用が予定されており、当社でも財務報告に関わる内部統制の整備・運用をさらに徹底し、監査法人による内部統制監査に対しても十分に対応できる社内／グループ体制および内部統制の文書化(可視化)を実施していきます。

#### 真に社会から信頼され、期待される企業を目指して

社会的要請を踏まえ、企業における内部統制推進部門の役割と責任は今後ますます増大していきます。そこにあるのは、企業自らが自身を厳しく律する、「企業倫理」、「企業統治」

および「法令遵守」の精神です。当社では、業界のリーディングカンパニーとしてそれをいち早く高次元で確立、実現することを自らの使命として課しています。社内の問題点を洗い出し、その改善・解決に向けて適正に指導・支援し、それによって、公正な企業活動を行い、社会的責任を遂行し、企業価値をさらに高めていくことが私たち業務監査室並びに内部統制室の使命です。

インターネットの世界はまだ開発途上であり、当社の果たすべき使命と社会的責任はますます重大化していくものと認識するとともに自負しています。その過程のなかで、ヤフーおよびヤフーグループ全体が、さらに健全かつ適正に大きく成長・発展できるよう、私たちは内部統制推進部門の立場から貢献していきたいと考えています。

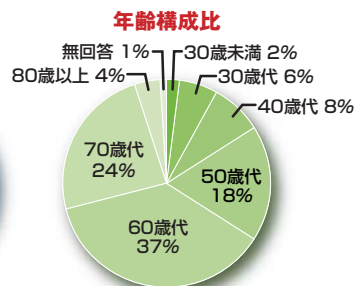
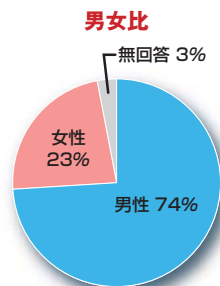


# 株主通信VOL.12アンケート結果のご報告

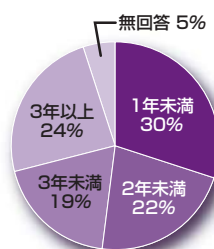
前回、株主通信VOL.12にてお願いいたしましたアンケートでは、多くの株主の皆様からご協力をいただき、誠にありがとうございました。アンケートの結果および数多くお寄せいただいたご意見、ご要望などについてご報告申し上げます。

## アンケート結果

### ① 株主様の属性について



### ② 当社株式保有期間



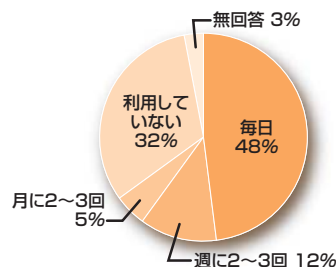
### ③ 当社株式購入の際に重視されたことベスト5

- 1位 ..... **成長性**
- 2位 ..... 株式分割
- 3位 ..... 長期的な値上がり
- 4位 ..... 収益性
- 5位 ..... 業界シェア

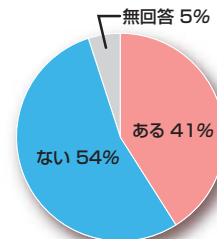
### ④ 興味を持たれた記事ベスト5

- 1位 ..... **株式情報**
- 2位 ..... 株主の皆様へ
- 3位 ..... 財務諸表
- 4位 ..... 事業部別概況
- 5位 ..... アンケート結果

### ⑤ インターネットのご利用状況



### ⑥ 当社のIR(投資家情報)サイトをご覧いただいたことが



数多くいただいたご意見、ご要望などの中からその一部をご紹介します。 貴重なご意見をいただきありがとうございました。

- 経営理念、将来計画等を具体的に説明してほしい。
- 紙メディアでのIR活動も重要なので、今後も力を入れてほしいと思う。
- わかりやすい言葉を使って欲しい。専門用語はよくわからない。
- シニア世代に合ったサービスを提供してほしい。
- 携帯電話事業参入での成功を期待している。
- 株主への利益還元を重視してほしい。
- CSRを拡充してほしい。
- ヤフーの株主として誇れる企業であり続けてほしい。

# Q&A

## Q 今後も株式分割を行うのか？

A 今後の株式分割につきましては、現時点では未定です。当社は、1997年11月に株式を公開して以来、1株を2株に分割する株式分割を合計13回実施しています。この9月を基準日とした株式分割の実施は、マーケットの環境や様々な状況を勘案した結果、見送ることとしました。今後につきましては、マーケットの状況および投資単位に関する社会的要請などを考慮し、検討していきたいと考えています。

## Q 株価対策として、自社株買いの予定はあるのか？

A 自社株買いに関しましては、資本政策の選択肢として、今後もその必要性について検討していきたいと思いますが、自社株買いを行う場合、取得した自己株式は、東京証券取引所の定める少数特定者持株比率の算定に含めなければならないため、大株主の保有比率と合わせますと上場廃止基準に抵触する可能性があります。約41%を保有するソフトバンクは当社を連絡子会社として維持するため、約33%を保有するヤフーインクは当社の重要な意思決定に関わる拒否権を維持するためであり、ともに今後の当社の安定的な事業運営のためには両社の保有比率の維持が重要です。従いまして、自社株買いにつきましては今後も慎重に検討していきたいと考えています。

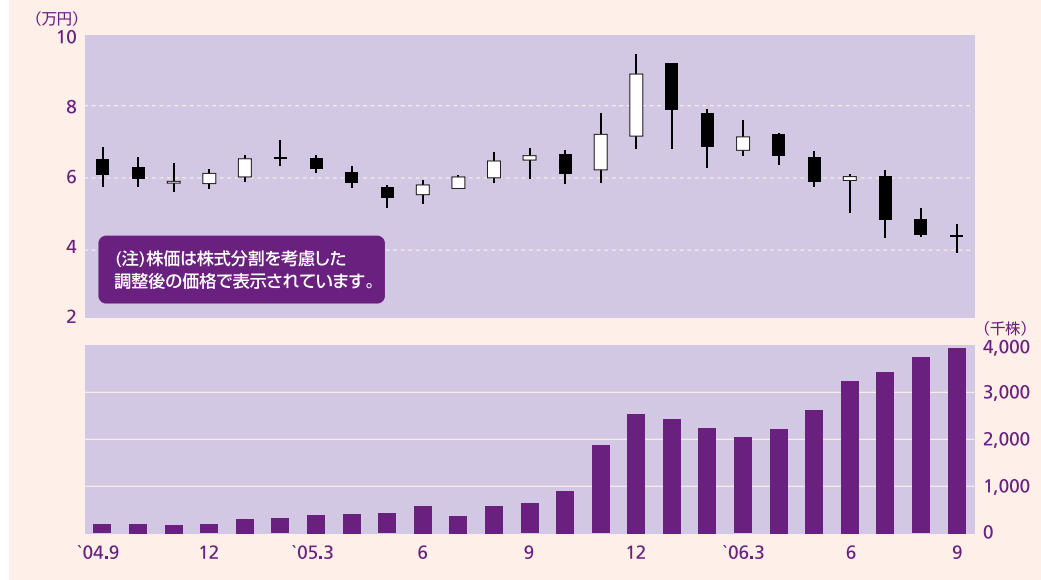
## Q 配当が少ないのでは？

A 当社は今後もあくまで将来の事業展開のための内部留保を中心に据え、積極的な投資で企業価値を高めていきたいと考えています。その一方で、各期の業績に応じた利益の分配をあわせて行いたいと思います。前期の配当は連結当期純利益の10%を配当性向の目処としました。

# 株式情報

(2006年9月30日現在)

## 株価チャート(月足)・出来高



## 発行済株式の総数

60,463,170株

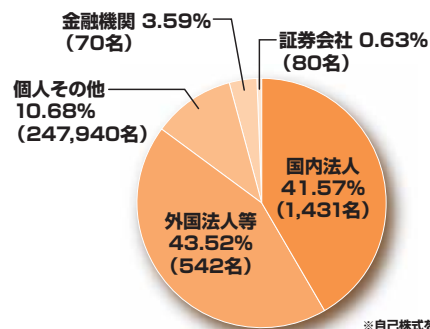
## 株主数

250,064名

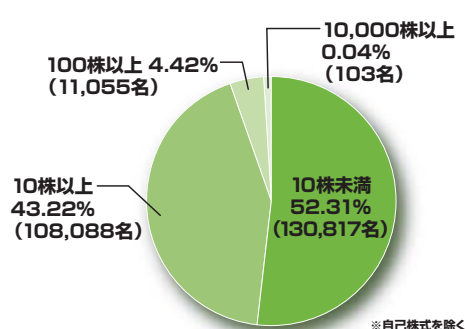
## 主要株主一覧

株主名	持株数(株)	持株比率
ソフトバンク株式会社	24,853,824	41.1%
ヤフーインク	20,215,408	33.4%
ユービーエスエージーロンドンアイビーピークライアントアカウント	1,978,401	3.3%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	1,292,896	2.1%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	669,486	1.1%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	373,477	0.6%
ザチエスマンハットンバンクエヌエイロンドン	290,791	0.5%
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	208,482	0.3%
ジェービーエムシービーオムニバユーエスベンシヨントリーティージャステック380052	177,260	0.3%
指定単受託者三井アセット信託銀行株式会社1口	155,155	0.3%

## 所有者別分布状況表



## 所有株数別分布状況



# 会社沿革

1996年 1月	インターネット上の情報検索サービスの提供を行うことを目的として、ヤフー株式会社設立	2005年 2月	有料ダウンロード型音楽配信サービス「Yahoo!ミュージックダウンロード」をスタート
1996年 4月	日本語での情報検索サービス(サービス名: Yahoo! JAPAN)の提供を開始	2005年 2月	福岡ドームのネーミング・ライツを取得
1997年 11月	店頭登録銘柄として株式を公開	2005年 3月	「Yahoo!縁結び」を公開
1999年 9月	「Yahoo!ショッピング」および「Yahoo!オークション」を開始	2005年 3月	Yahoo!プレミアム会員ID数が500万IDを突破
2001年 5月	「Yahoo!オークション」の本人確認(有料化)開始	2005年 5月	ブロードバンド向けオンラインイベント「Yahoo!ライブトーク」を開始
2001年 9月	ブロードバンド関連の総合サービス「Yahoo! BB」の商用サービス開始	2005年 5月	政府の地球温暖化対策推進本部が推進する国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」に参画
2002年 3月	「Yahoo!ウォレット」を開始	2005年 6月	(株)インデックス、(株)コネクテクトテクノロジーズと共同でモバイルコマース専門の合併会社を設立することを発表
2002年 4月	「Yahoo!オークション」のシステム利用料導入開始	2005年 8月	フルサイズの音楽をいつでも無料で聴ける「Yahoo!ミュージック サウンドステーション」を公開
2002年 4月	ブロードバンド電話サービス「BBフォン」の商用サービス開始	2005年 9月	災害時に備えた知識を提供する「Yahoo!災害情報」を公開
2002年 10月	月間100億ページビュー突破	2005年 9月	証券仲介サービス「Yahoo!証券窓口」を公開
2002年 11月	スポンサーサイトの掲載を開始	2005年 10月	(株)インフォプラントを子会社化
2003年 1月	国内初の個人間支払いサービス「Yahoo!ペイメント」(現「Yahoo!かんたん決済」)を開始	2005年 11月	(株)セブン・イレブン・ジャパンと包括業務提携に向けた検討を開始
2003年 4月	オリジナルキャラクターを作成できる「Yahoo!アバター」を公開	2005年 12月	JALグループと包括提携契約を締結
2003年 10月	東京証券取引所 市場第一部へ上場	2005年 12月	TVバンク(株)の事業運営を開始
2003年 12月	動画コンテンツの総合サービス「Yahoo!動画」を公開	2006年 1月	(株)リクルートとインターネットにおける国内最大規模の旅行関連サービスを本格開始
2004年 2月	(株)リクルートと合併で(株)インディバルを設立	2006年 1月	「Yahoo!共同購入」を公開
2004年 3月	パソコンで検索、試聴できる「Yahoo!着メロ」を公開	2006年 2月	ソーシャル・ネットワーキング・サービス「Yahoo! 360° (現「Yahoo! Days」)を公開
2004年 3月	月間200億ページビュー突破	2006年 3月	ソフトバンク(株)と携帯電話事業に関する業務提携について合意
2004年 3月	「Yahoo! BB」加入者が400万人を突破	2006年 3月	三井住友銀行グループとインターネット金融事業に関する業務・資本提携について合意
2004年 4月	求人情報サイト「Yahoo!リクナビ」を公開	2006年 4月	Yahoo! JAPAN、サービス開始から10周年
2004年 5月	(財)日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会および「2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会」のオフィシャルパートナーを務めることを決定	2006年 5月	Yahoo! JAPANとJR東日本の包括的業務提携について発表
2004年 7月	東京都主税局とともに全国で初めての「インターネット公売」を実施	2006年 5月	「Yahoo!ポッドキャスト」(ベータ版)を公開
2004年 8月	情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の認証を取得	2006年 6月	家庭用フィルタリングサービス「Yahoo!あんしんねっと」の提供を開始
2004年 9月	「Yahoo!ポイント」サービスを開始	2006年 6月	Yahoo! JAPANの10周年を記念し「Yahoo!基金」を設立
2004年 9月	オンラインチケット販売サービス「Yahoo!チケット」を公開	2006年 9月	決済、金融サービスを提供する「Yahoo!ネットバンキング」を公開
2004年 10月	1日当たりのアクセス数が10億ページビュー突破	2006年 10月	「Yahoo!ケータイ」を開始
2004年 10月	「Yahoo! BB 光」を開始		
2004年 11月	ファーストサーバ(株)を子会社化		
2005年 1月	(株)アルプス社の事業を継承		
2005年 1月	「Yahoo!保険」を開始		
2005年 1月	「Yahoo!翻訳」を開始		

# 会社概要

(2006年9月30日現在)

- 商号 ヤフー株式会社
- 証券コード 4689
- ホームページ <http://www.yahoo.co.jp/>
- 本社所在地 〒106-6182  
東京都港区六本木6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー
- 設立 1996年1月31日
- 資本金 7,100百万円
- 事業内容 インターネット上の広告事業  
イーコマース事業  
会員サービス事業  
その他事業
- 従業員数 2,289名

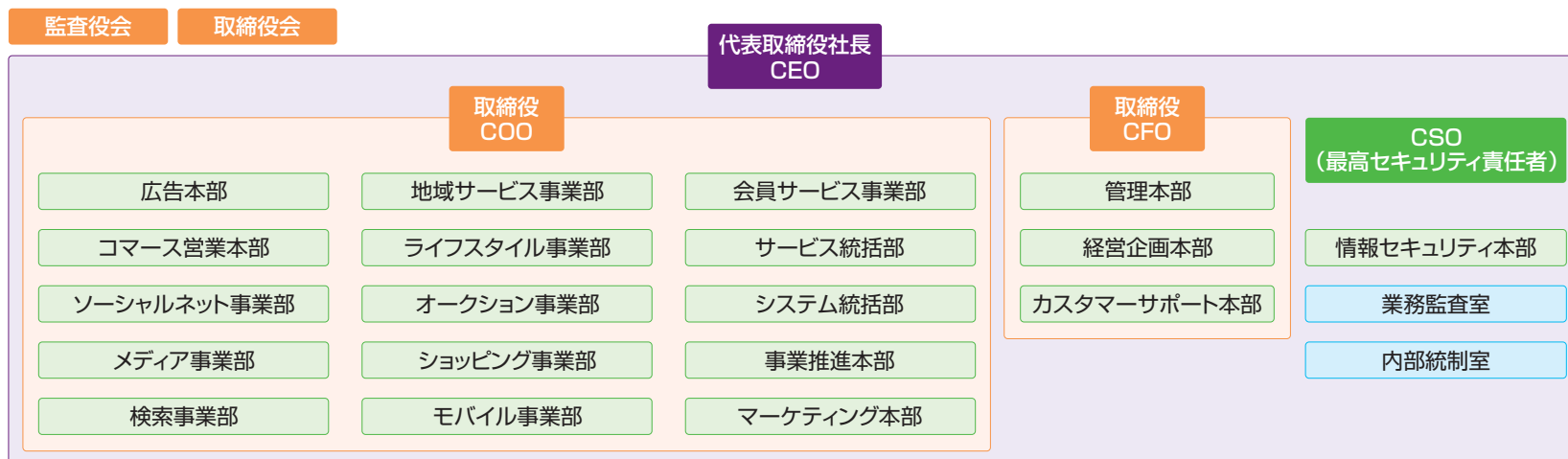
## 役員

- 代表取締役社長・CEO 井上 雅博
- 取締役会長 孫 正義
- 取締役 ジェリー・ヤン
- 取締役・CFO 梶川 朗
- 取締役・COO 喜多埜 裕明
- 常勤監査役 須江 澄夫
- 監査役 桐淵 利博
- 監査役 佐野 光生
- 監査役 金野 志保

## 主な連結子会社

- 株式会社アルプス社
- 株式会社インディバル
- 株式会社インフォプラント
- 株式会社ニュースウォッチ
- 株式会社ネットラスト
- ファーストサーバ株式会社
- ワイズ・インシュアランス株式会社
- ワイズ・エージェンシー株式会社
- ワイズ・スポーツ株式会社

## 組織図(2006年9月30日現在)



# 株主メモ

- 決算期 : 毎年3月31日  
 定時株主総会 : 毎年6月  
 株主名簿管理人 : 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 : 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (同連絡先) : 〒137-8081  
 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎0120-232-711 (通話料無料)
- 同取次所 : 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
 野村證券株式会社 全国本支店
- 公告掲載新聞 : 日本経済新聞

## ご住所変更等のお手続きはお済みでしょうか？

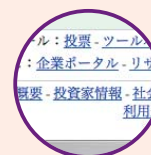
株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、端株買取請求書、名義書換請求書等)書類のご請求につきましては、株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受付けておりますので、ご利用ください。  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 ☎0120-244-479 (本店証券代行部)  
 ☎0120-684-479 (大阪証券代行部)  
 インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>  
 なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

## IRサイトのご案内

当社では、Web上で「IR関連情報」として以下のような情報を公開しています。今後も、株主の皆様への情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

### Web上でご覧いただける IR関連情報

- トップメッセージ
- 企業情報
- 財務情報
- 株主情報
- IRイベントスケジュール
- アナリスト・カバレッジ一覧
- 最新プレゼンテーション資料
- 月次開示情報
- よくあるご質問(FAQ)



➔ **YAHOO!** JAPAN <http://www.yahoo.co.jp/>

※当社のIR関連情報は、Yahoo! JAPANトップページの一番下にある「投資家情報」からご覧いただけます。



〒106-6182 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー  
電話 03-6440-6170



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

